

テープカットで初出荷を祝う関係者
＝海津市海津町江東、JAにしみの
海津集出荷センター



県内で最も早く収穫される海津市産の新米「あきたこまち」の初出荷式が、同市海津町江東のJAにしみの海津集出荷センターで行われ、関係者が順調な収穫に期待を込めた。

同市は県内有数の米どころで、同JA管内では約320㌔であきたこまちは生産している。今年は春先の低温で育成不良が懸念されたが、気温の上昇

新米間もなく食卓に 海津「あきたこまち」初出荷

とともに回復し、品質、収量ともに良好。平年並みの1140㌔の収量を見込む。

初出荷式にはJA全農岐阜や県西濃農林事務所の関係者らが出席。JAにしみの

の小林徹組合長らがあいさつした。テープカットを行い、新米を載せたトラックを見送った。新米は県内の量販店やスーパーで今月下旬から販売される。

(青山和史)